

## 『ジュニアリーグ』大会競技運営細則

1. 大会の運営に関する統制はさわやかカップ事務局にて行う。
2. 大会要項、競技細則はチーム全員に周知徹底させる事。
3. 選手の登録人数は 25 人以内とする。
4. 試合当日の登録人数は 10 名以上だか、相手チームの了解を得られれば 9 人でも試合可能とする。
5. 大会は予選リーグ戦を行った後、決勝トーナメント戦を全チーム参加にて行う。
6. 服装について、選手・監督・コーチは統一されたユニフォームが望ましいが、連合チーム、合同チームで参加する場合は  
デザインが違って構わないが、背番号は同じ番号は認めない。
7. 選手のスパイク、アップシューズ、運動靴は同色で揃える事が望ましい。揃わなくてもペナルティは無い。
8. 試合について
  - (1) 試合開始の 30 分前には集合して準備する事。
  - (2) 予選リーグは 5 回戦 70 分で行う。
  - (3) 決勝トーナメント戦は 5 回戦 80 分で行う。
  - (4) 試合時間を過ぎて新しいイニングには入れない。
  - (5) 同点の場合は、時間内延長は無しで特別延長ルール（タイブレイク）を行うが最大 2 回までとする。
    - \*タイブレイク方式  
1 死一三塁にランナーを置いて打順は継続にて行う。
  - (6) 予選リーグでは、1 イニングで打者が 9 人（一巡）したらアウトカウント、走者の有無に関わらずチェンジとして攻守  
を交代する。決勝トーナメント戦では採用しないので注意する事。
  - (7) コールドゲームについては、予選リーグでは採用しない。決勝トーナメント戦では採用する。  
3 回で 10 点差、4 回で  
7 点差でコールドが成立する。
  - (8) 投手のボークは無しで注意に留める。
  - (9) インフィールドフライは無い。
  - (10) 第 19 回大会から決勝トーナメントの準決勝敗退チームによる三位決定戦を実施する。
9. さわやかカップルールについて
  - (1) 試合球はダイワマルエス社製の J 号球に限定する。
  - (2) ジュニアリーグは 4 年生以下が対象であるが、選手不足の補強に限っては 5 年生を 1 試合に 2 名まで出場を認めるが、  
投手・捕手での出場は認めない。
  - (3) ジュニアリーグのグラウンド規定は、投手・捕手間を 14m、塁間を 21m とする。グラウンドはローカルルールがあるので  
周知徹底して不公平にならない様に試合運営を行う事。
10. 投球練習は初回 5 球以内、その後は 3 球とする。投手が交代した時は 5 球とする。
11. 監督・コーチ・選手の審判の判定に対する抗議は認めない。判定内容の確認は可能である。

平成 16 年 12 月 1 日制定  
平成 19 年 11 月 24 日改定  
平成 22 年 4 月 18 日改定  
平成 31 年 3 月 7 日改定  
令和 2 年 3 月 31 日改定  
令和 4 年 3 月 31 日改定